

～2023-24年度主題～



国際会長 ウルリック・ラウリドセン
 “Let Your Light Shine”
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子（川越C）
 “Be the light for change”
 東日本区理事 山田公平（宇都宮C）
 “Instill Confidence in our Youth”
 湘南・沖縄部長 黒川 勝
 “初心に帰り、新たな船出を踏み出そう”
 クラブ会長 今城高之
 “Enjoyment first and foremost !”
 （楽しく、何はさておき楽しく！）

2023-24年度 クラブ役員

会長 今城高之
 直前会長 辻 剛
 副会長 鈴木茂
 書記 岡田美和
 会計 横田孝久

今月の聖句

「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

フィリピ4・6-7

《巻頭メッセージ》

感謝

鴨下 純久



2024年4月より本部（横浜中央YMCA）へ異動となったため、2020年4月より、4年間務めた「つづきクラブ」の担当主事も交代となりました。年度当初より、今月の巻頭言を担当することになっていましたので、元担当主事として、楽しかった「つづきクラブ」の4年間を振り返りながら、したためていきたいと思えます。

2020年4月は、コロナ禍が始まり緊急事態宣言下社会が混乱していた時期でした。行動の制限もあり、クラブとしての行事もできない状況が続きました。コロナ前は、例会が終わった後に全員で食事をしながら語らう時間が「つづきクラブ」の習わしでしたが、それも叶わず、一部の方と一献傾けるだけの時が続きました。これはこれで、楽しいひと時でした。たまたま「ホッピー」を注文したことから「ホッピーが大好きな人」と今も思われています。

（笑）ようやく屋外での活動が実施できるようになった2022年の秋、日帰りでの横須賀・三浦地区・中華街への移動例会に参加しました。初めての横須賀「軍港めぐり」も中華街でお世話になることが多い「心龍」で美味しい食事をいただいたことも楽しい時間でした。2023年6月は、東日本区大会へ参加させていただきました。そこで「つづきクラブ」が最優秀クラブ賞を受賞し、感動のひと時を体験しました。地域や弱い立場にある方のために地道に取り組んできたことが認められ、受賞されたことを本当に嬉しく思いました。

「つづきクラブ」といえば、「YOU&Iコンサート」と言っても過言ではないほど、定着した活動の一つになっています。2年間の中止期間がありましたが、2022年11月に「第10回 YOU&Iコンサート」を開催しました。横浜YMCA のスタッフが「つづきクラブ」の皆さんと交流を図ること、「つづきクラブ」とYMCAの協働による取り組みを体感してほしいことを願い、近隣のYMCAから10名を超えるスタッフを動員し、共に活動することができました。このことは、2023年第11回目のコンサートでも取り組むことができました。参加したスタッフから「楽しかった」との声を聞くことができ、私にとっても初めての「YOU&Iコンサート」は楽しく、有意義な時間でした。2024年5月に宿泊を伴う移動例会を「富士山YMCA」で実施することとなり、1月から準備を進めました。宿泊先や最終日に昼食を摂る「東山荘」の予約などを整えた2月に、本部への異動の公示が出され、「残念ながら、5月の移動例会は参加できないなあ」と思っていたところ、会長をはじめとして、本部に直々に依頼していただき、参加できることになりました。移動例会の2日間、天候に恵まれ、5月の時期としては珍しいほど、富士山の全景が綺麗に見える中、皆さんで楽しい時間を過ごすことができました。

大いに盛り上がった横浜北YMCAとの懇親会や一緒に取り組んだ「北Yまつり」など、まだまだここに書ききれないことが多くありますが、振り返ると4年間の「つづきクラブ」の活動は、本当に楽しいものでした。私が皆さんの力になれたことは少なかつたと思えますが、皆さんから元気や楽しさを与えていただいたことは沢山あり、感謝の言葉しか見当たりません。本当にありがとうございました。「つづきクラブ」の皆さん、どうぞ健康にご留意いただき、これからも「ワイズライフ」を楽しんでください。そして、引き続き、横浜北YMCAをよろしく願いいたします。次回、皆さんと「ホッピー」を飲める日を楽しみにしています。（笑）

6月本例会次第

日時 6月28日 15:30～

場所 かけはし都筑

司会 鈴木茂 受付 今城宏子
～次第～

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング・信条 一同
- 3.今月の聖句と祈祷 相賀先生
- 4.会長挨拶 会長
- 5.ゲスト・ビジター紹介
- 6.卓話：「ボランティア活動との出会い」 朝香好平さん
- 7.報告事項
 - ・富士山例会
 - ・東日本区大会
 - ・第3回部評議会
 - ・その他
- 8.YMCA報告 森山北Y館長
- 9.Happy Birthday
 - 5/4 ロブ・エスキルドセンさん
 - 5/21 鈴木茂さん
 - 6/10 横田孝久さん
 - 6/21 大野君枝さん
10. 閉会点鐘 会長

《特別報告》

2024年5月 『富士山例会』

今城 高之

1. はじめに

私たちつづきクラブでは、コロナ禍前の数年間、毎年5月の例会を「富士山例会」と称して、横浜YMCAの富士山キャンプ場（富士山グローバルエコヴィレッジ）で行うのを恒例としてきました。2019年5月を最後に、4年間休止していましたが、この度再開を決め、去る、5月17-18の両日、マイクロバスを仕立て、お馴染みのプロの運転手さんをお願いしてのバス旅行には、つづきクラブからの8名の他、近隣のワイズの仲間、YMCA関係者、ゲストの友人など、合わせ22名が参加しました。

2. いざ出発～富士山GEV到着まで

バス旅行参加者22名は、午前10時、横浜市営地下鉄、センター南駅バスターミナルに集合し、10時15分に出発、横浜青葉ICから東名高速で現地に向かいました。車内でのプログラムは、鈴木茂ワイズの司会で、「YMCA/ワイズ理解」のクイズを行いました。途中、さしたる渋滞もなく順調に進み、休憩地の駿河湾沼津SAを目指しましたが、何しろ高齢者が多い一行故、念のため、足柄SAで一回目の“O-Stop”をとりました。予定より若干の遅れはあったものの、ちょうど昼食時間に駿河湾沼津SA到着、



各自それぞれにフードコートで昼食をとることとなりました。これまでの経験から、「シラス・桜エビ丼」が季節柄お勧めのフードコートですが、各自、お好みの昼食をとり、暫し、休息の時を持ちました。

昼食後、一行は再度車上の人となり、目的地の富士山GEVを目指し、当初予定を30分ほど過ぎた13:40、三上所長他に出迎えられて無事、懐かしい富士山GEV到着。

2. オリエンテーション～写真撮影

到着後、別途来ていた参加者2名も合流し、メインホールに集合。参加者の自己紹介の後、現地スタッフによるオリエンテーションが行われ、施設の概要、利用上の諸注意などについて説明がありました。

現地スタッフのアドバイスもあり、直ちに記念撮影の場所に向かいます。天候が変わりやすい富士山をバックに写真を撮るならば、見えている時に遅滞なく撮影するのが鉄則とのこと、おかげで素晴らしい記念写真が撮れましたが、我々の滞在中、富士山が雲に隠れることはありませんでした。記念写真撮影後は、部屋割りごとにチェックインを行いました。



3. 卓話

午後3時より、参加者全員メインホールに集合して暫しの学びの時を持ちました。当日のテーマは「YMCAとキャンプ事業」で、三上所長のお話を伺いました。古賀ワイズ（横浜C）の開会祈祷で始まり、三上所長よりYMCAを中心とした日本における組織キャンプの変遷、富士山



GEVの状況と役割などについてのお話を伺いました。

1920年、神戸六甲山での大阪YMCAのキャンプが始まりと言われており、1924年には、横浜YMCAによる、前年の関東大震災の被災児を励ますキャンプが行われたこと。また、富士山GEVのテーマは未来の子どもたちへのプレゼントとして何が贈れるかであり、当面の課題としては、既存のソーラー発電の充実、井戸の整備などが挙げられました。

4. 自由時間

今回のプログラムで数少ない自由時間です。自由とは言え、参加者には命題が課せられておりました。キャンプ場の西端に広がる竹林に行き、BBQの食材となる筍を採取するというものでした。生えているのは、「破竹」(写真参照)という、細い竹で、この季節に生える筍は小さいながら柔らかくて美味しいことは過去に確認済み。自然



の恵みを期待したのですが、三上所長の下調べによると、今年は、まだ生えていないとのこと。過去の富士山例会は、今回より10日前後遅かったのがその理由と納得、断念しました。

5. BBQ～懇親会

いよいよ富士山例会の本命、大BBQ大会です。会場担当の横田ワイズ、調理担当の今城ワイズの指揮のもと準備を行いました。今回の参加者が30名程度になることから、10人掛けのテーブル3基を準備。勿論、純白のテーブルクロスがかかります。(宿泊棟から拝借したシートです。三上所長、ごめんなさい!) 調理の方は、肉類を始め、ほとんどの食材をお願いしていた、富士宮市内有名精肉店『さの萬』から届いていたのを、包装を開けて大皿に盛りつけました。お任せで準備して頂いた食材の質、量に驚愕。『さの萬』の社長さんが富士宮クラブ所属のワイズであることと無縁でないことは明らかです。『さの萬』さん、ありがとうございました。



ここで、BBQ大会を一層華やかにしてくれた皆さんからの差し入れなどについて記録し、お礼を申し上げます。

- 今回参加できなかった辻さんより、大量のワイン他飲料のご提要がありました
- 鈴木さん、辻さんから、北海道十勝の山田敏明農

場産のアスパラガスの差し入れがありました。

- つるみクラブん皆さんより、イチゴの差し入れがありました。
- 横浜クラブ大高さんより、高級梅酒の差し入れがありました。
- 富士宮クラブの皆さんより、地酒、ビール、果物の差し入れがありました。

その他記載漏れがあったらお許しください。皆様本当にありがとうございました。

BBQの様子を文字であらわすのは極めて困難なため、写真をもって報告します。





豊かで楽しかった宴の様子が十分に伝わったでしょうか。大勢の参加者に恵まれ、普段とは異なる環境の中、新しい仲間たちとの交流は素晴らしいものでした。「またやろう！」の声ききよかったです。



(富士宮クラブ樋口会長よりご挨拶を頂きました。その後十勝で再会！)



特筆すべきこととしては、今回のBBQ大会には、地元富士宮クラブより、樋口会長他5名の方々が参加してくださいました。新たな交流のひと時を楽しんで頂けたでしょうか。特に、山本ワイズには特別の感謝です。全員が堪能した名物「富士宮焼きそば」の調理に腕を振るってくださいました。本当に美味しかった。

さて、皆が十分に飲み、かつ食った後は、本日最後のお楽しみ、懇親会です。全員でBBQの後片づけを終え、会場のメインホールに移動です。富士宮の皆さんは、ここでご退場されました。

懇親会の主役は、久保さんと富山さんのギターとフルートのデュエットです。



“To acknowledge the duty that accompanies every rights”



久保さんと言えば、カントリーソングの大家で知られていますが、当日は何と「ムード歌謡」一筋でした。美しいフルートの音と相まって、グラス片手に聴いていると、昭和の酒場に舞い戻った思いをしたのは一人報告者のみではなかったと思います。飛入りもあたりして、富士山の

夜は楽しく更けて行きました。

6. 早天礼拝～朝食～出発

昨日の疲れをもともせず、ほぼ全員が早天礼拝会場の研修棟に集まったのが午前7時半。目の前には、前日と変わらず一点の陰りもない富士山がそびえています。

鈴木茂さんの司式、古田和彦さんの奨励で早天礼拝が行われました。実は、前回の「富士山例会」の際も、古田さんに早天礼拝の奨励をお願いしたことが思い出されます。古田さんを「富士山例会」のチャプレンに就任して頂こうという話があったりなかったり…

早天礼拝を終え、8時よりメインホールで朝食を頂きました。何品ものお皿が並ぶ立派な朝食を頂きながら、その昔、リーダーとして参加した神戸YMCAの余島キャンプを思い出しました。当時の余島の朝食は、食パン、マーガリン、ジャム、サラダ、牛乳というのが定番で、そんなものでも子供たちの食べっぷりには驚かされたもんです。スライスした食パンを半分に切ったものを20枚以上も食べる子供もいたのですから。

朝食後は各自宿舎に戻り、部屋の片づけ、荷物のパッキングを行いました。予定の9時30分の少し前、帰路に就く人全員がバスの前に集合、そこから単独行動をとる人たちとの別れを惜しみ、バスは出発し次の目的地に向かいました。

7. 本栖湖～道の駅なるさわ～東山荘

2日目のプログラムが始まりました。御殿場にある日本YMCA同盟の東山荘を訪問し、昼食を頂いて帰路に就くのが今日の行程です。

昨日御殿場から始まった富士山を時計回りにぐるっと回る旅の続きで、まずは、富士山の絶景地点本栖湖を目指しました。ナビゲーターに問題があり、予定していなかった精進湖も巡り、本栖湖に到着。本栖湖からの富士山は、千円札の絵柄で有名です。続いて、順路上の道の駅「なるさわ」に向かいました。何人かが、山梨の土産

物を買ったりして先に進みます。一路、御殿場に向かうはずが、気付けば、バスは中央高速を東京に向け走っているではありませんか。走路の一部が新しくなったにも関わらずナビのソフトが古かったなど理由が挙げられますが、実際はナビゲーター（イマジウ会長です）のミス、大きく



迂回して本来の道に戻り、一路御殿場を目指しました。

東山荘に到着し、森田所長他の出迎えを受け、早速昼食の席につきました。メニューは、名物のカレーを始め、

サラダやエビフライといった豪華なものでした。食後は、森田所長より、1878年に遡る東山荘の歩みについてのお話を伺いました。また、コロナ禍により利用者が激減したが、その後の社会経済活動の活発化に伴い利用者数が回復してきており、学校や企業の研修の場として、2023年には学校は76校、14,000名が、企業は86社4,700人が利用したとのことでした。

森田所長のお話を伺った後、東山荘最高地点の「夕陽の丘」（せきようのおか：写真下）で最後の記念撮影を行い、そのすぐ下の黙想館より望む富士山の眺望を心に焼き付け東山荘に別れを告げました。

その後は、バスにて一路出発地点のセンター南駅に向か



い、予定の午後4時前に無事到着、参加者は互いに別れを告げそれぞれの家路へと向かいました。一泊二日の「富士山例会」、これにて終了!!

(完)

《特別報告》 その2

第27回東日本区大会に参加報告

今城宏子

日時：2024年6月1日（土）、2日（日）
 会場：とまちプラザ、ホテル日航ノースランド帯広*
 *大晩餐会、主日礼拝

大会は5月31日（金）のチャリティーゴルフコンペ、前夜祭から開かれましたが、私も「つづきワイズメン&ウィメンズクラブ」のメンバー5名および横浜YMCA総主事、担当主事の皆さんは公式には6月1日からの参加とさせて頂きました。

<6月1日（土）> 10時~11時30分
 代議員会（今城高之会長出席）、担当主事会（森山真治主事出席）、ユースの集いが平行して開催された。メネットの皆様は「真鍋庭園バスツアー」

（その間、辻剛さんは「透析」、大野君枝さん、鈴木茂さん、今城宏子は「真鍋庭園」へ。12時30分のオープニングセレモニーに間に合うよう名物「豚丼」のランチ。

☆オープニングセレモニー

帯広大谷高校マーチングバンドの演奏、とまち帯広YMCA幼保園園児によるリミックダンス。

バナーセレモニー：東日本区の7つの部とそれぞれのクラブの代表がバナーを持って壇上に勢ぞろい。北東部（8クラブ）関東東部（9クラブ）東新部（5クラブ）あずさ部（11クラブ）湘南・沖縄部（6クラブ）富士山部（9クラブ）北海道部（3クラブ）

湘南・沖縄部も黒川部長に続いておなじみの会長たちが堂々と登場、舞台いっぱいバナーが林立し、圧巻であった。



☆開会式

山田公平理事による開会点鐘に続き、ワイズソングを唱和。聖書・開会祈祷は札幌クラブの宮崎善昭ワイズ。歓迎挨拶は池田正勝十勝クラブ会長によって行われた。来賓祝辞は米沢則寿帯広市長、田口勉日本YMCA同

盟総主事、利根川恵子アジア太平洋地域会長、深谷聡西日本区理事からいただいた。

西日本区からも中部（3クラブ）、びわこ部（1クラブ）、京都部（7クラブ）、中西部（2クラブ）、六甲部（2クラブ）、九州部（7クラブ）の参加があり、篤い思いが感じられた。

メモリアルアワーにおいては多くのご奉仕ののち天に召された（5人）のワイズが紹介され、祈りをささげた。

☆東日本区アワー I

一年を振り返っての理事報告、ユースによる発表、代議委員会報告に続きYMCA報告（能登半島地震に対する取り組み状況）がされた。

開会から2時間超が経ったところで休憩（おやつタイム）。十勝名産の牛乳を使ったアイスクリームやお菓子類が供され、ホッと一息を入れることができた！

☆記念講演会「食べることは生きること」 南極料理人 西村敦氏

北海道留萌市生まれの西村氏は1989年（30次隊）、1997年（38次隊）の2度、南極観測隊員に選ばれ、38年次隊では平均気温-57℃の「ドーム富士」で越冬。極寒の地で単身赴任生活を送る隊員たちの生活を食事担当として支えてきた方。現在、食を通してコミュニケーションを図る「オーロラキッチン」を設立し、多方面にわたって活躍中。多くの映像を用いての臨場感あふれる講演に時間のたつのも忘れて、引き込まれた。ちなみに極寒の地で一番難しい卵料理はなんだかお分かりになりますか？（答えは目玉焼き！はて？）

☆東日本区アワー II

事業主任報告・理事表彰、奈良傳賞、理事就任式（山田公平理事再任）、役員紹介が行われた。表彰式では我がが鈴木茂ワイズが3人の新入会員を紹介・入会に貢献されたことが表彰された！



“To acknowledge the duty that accompanies every rights”

☆閉会式

実行委員長挨拶：十勝クラブ 山田敏明ワイズ
 東日本区大会は15年ぶりの北海道開催に向けての北海道部が力を合わせての準備、そして開催・実行への思いが述べられた。その熱き想いに感動！
 大会バナー引継ぎ式：十勝より宇都宮へ
 YMCAからの感謝状：田口努同盟総主事
 YMCAの歌
 閉会点鐘

☆大晚餐会 19時～21時 ホテル日航ノースランド帯広 宴会場

300人を超える出席者のために大会場に30以上の食卓が用意され、それぞれ指定の席に着席。わがクラブは北東部の青葉城クラブと同席。久々の大会出席とあって、長年、区の役員として活躍された辻剛ワイズおよび、多くの役を担われてきた鈴木茂ワイズは大勢の方々と旧交を温めるため大忙しであった。



開会のピアノ演奏に続き、飯田晴義幕別町長により歓迎挨拶を頂き、秋葉聡志北海道YMCA総主事の食前感謝を頂いた。森田恵三第38代日本区理事による乾杯の音頭により、晚餐会が開始された。
 十勝の食材によるコース料理に加えて、名物の豚丼、カレー、そば、そしてグリーンアスパラガス食べ放題、十勝ワ

イン等の屋台が並び、長い行列ができる中、歌謡ショーやゴルフコンペからの寄贈抽選会が並行して行われ、会場全体が大いに盛り上がった。
 大会アピールでは下記の3大会についてプレゼンが行われた。

- ・第31回アジア太平洋地域大会（熊本）・第28回西日本区大会（神戸）
 - ・第28回東日本区大会（宇都宮）
- お腹も胸もいっぱいになったころ、「よさこいソーラン乱舞」の



（思わず踊りの輪に飛び込んだむ鈴木茂さん）

若者たちが会場に登場、躍動感あふれる踊りに魅了された。さらに会場の参加者にも舞踊指導（？）があり、老若男女いりみだれての楽しい時となった。

盛り沢山の晩餐会も山下真次期理事の閉会挨拶により幕を閉じた。

その後フェローシップアワーに参加された方々、三々五々、街に繰り出した方々、くたびれてホテルに戻られた方々など、それぞれに過ごしたことであった。

いたれりつくせりの準備をしてくださった山田敏明大会実行委員長始め十勝クラブの皆さま、札幌クラブ、北見クラブの皆さまに心から御礼申し上げます。

6月2日（日）

☆聖日礼拝 7時30分～8時15分

@ホテル日航ノースランド 司式：池田明美メネット

ヨハネによる福音書16：31～33

「十字架の勝利」として竹井剛日本キリスト教会帯広教会牧師によるメッセージを頂いた。

献金は能登地震復興支援のため、日本YMCA同盟に献げられた。

☆エクスカージョン 9時～

準備されたよつば牛乳訪問ほかの見学コースをバスで回り、その後解散。二日間の区大会がつつがなく閉幕となりました。ホストの皆さんに心よりの感謝を!! (完)

《第102回Y-Y's協議会 報告》 鈴木 茂 記

開催日時 : 2024年6月4日 (火) 19:00-20:00
 会場 : 横浜中央YMCA 608室+Zoom
 担当クラブ : 金沢八景クラブ
 出席者 : 23名 (当クラブからの出席者: 今城T、森山
 担当主事、鈴木S)、辻Tsu (Zoom参加)

～概要～

1.開会礼拝

雲走和孝・金沢八景クラブ担当主事の聖書朗読、祈祷にて開会

2.挨拶

佐竹・横浜YMCA総主事: 4月から新年度に入り、森山真治・当クラブ担当主事など、変更のあった4人の担当主事が紹介された。

黒川・湘南沖縄部長: 2023-2024年度も最後の月を迎え、この1年間の協力に感謝したいとの挨拶があった。



3.協議 (司会: 峯尾 舜・金沢八景クラブ会長)

1)横浜YMCA国際チャリティラン

関口努担当主事より、昨年開催の第26回大会の収支ならびに収益金の配分先の報告あり。(当クラブ・You & Iコンサートへの支援金など、障がい者支援活動)の報告があった。

- ①本年10月19日 (土) 開催予定の第27回大会はオンライン参加競技は大会当日以前に実施し、閉会式で成績発表を行なう
- ②関連Tシャツを6月末頃から販売する
- ③スポンサー参加募集 (1チーム50,000円)

④ワイズには従来同等の支援をお願いする

2)第30回 AIDS文化フォーラム

阿部正伴担当主事より、8月2日-4日(金-日)に開催予定の「AIDS文化フォーラム」@神奈川県民センターへの参加の呼びかけがあった。今年のテーマは、「伝えることの難しさ」。ワイズ東日本区から、特別寄付金があった。

4. 報告

1)横浜YMCAユースリーダー感謝会

瀬戸俊孝担当主事によると、3月16日、中央YMCAで第3回「ユースリーダー感謝会」が開催され、30名(うち2名Zoom)のリーダーが参加した。

2)第27回ワイズメンズクラブ東日本区大会

阿部正伴担当主事により、ワイズ東日本大会への参加の報告があった。6月1日-2日(土・日)、帯広で開催された大会には佐竹 総主事ほかクラブ担当主事4名が参加し、担当主事会では「ユースが取り組むSDGs」について協議した。これに関連し、板崎淑子・湘南沖縄部ユース事業主査より、東日本区が主催する、環境問題や地域福祉改善に取り組むユースリーダーを、資金面で支援するプログラム「SDGs ユースアクション」に、横浜YMCAのリーダーからの参加が無いのは残念だ、との発言があった。これに対し、佐竹総主事より、財政的に厳しい地方YMCAに配慮して、若干遠慮してきた面もあるとの説明があった。

3)各クラブ報告

当クラブ今城会長から、去る5月17日～18日に富士山移動例会を開催し、横浜クラブ、つるみクラブならびに地元の富士宮クラブからの参加も得て、楽しい交流会を持つことができたとの報告があった。

次回103回は2024年9月3日 (火) 開催予定。

担当: つづきクラブ 以上



8月22日(木) 18:00より、横浜クラブ主催の納涼会が開催されます。皆さん奮ってご参加ください。詳細は追ってお知らせします。

▽今月号のブリテンは、5月後半から6月初めまでに行われた大きなイベント2件の特集となりました。これらイベントに参加された方には、うんざりするほど詳細かも知れませんが、参加されなかった方たちに、臨場感をもって頂くため、敢えて詳しい内容としました。仲間のイベントも、天候に恵まれ、素晴らしい準備とのかけがえのない交わりの機会でした。準備に携わった人たちが、参加してくれた人たちに心より感謝の気持ちをお伝えします。▽感謝のついでと言ったら失礼ですが、左の写真は、区大会の実行委員長、山田敏明さん(十勝C)のご家族とつづきクラブの参加者が映ったものです。山田さんへの感謝の気持ちを込めて掲載しますが、その後に控えたYou&Iコンサート(9/28)を思うと、うかうかできません。お互い、健康に留意して頑張らしましょう。

・・・編集後記・・・

(編集子)